



『この前おいしいチョコパフェのお店を見つけたので行ってみませんか？』

『あ、ちよん先輩っ！今レッスンは終わりなんですわっ』



『そうですかープロデューサーさんもお誘いしようかと思っていたのにいらっしやらないですし』

『あ、ご、ごめんね今日は予定があって……シャワーも浴びて遅くなっちゃっ……』

『ごめんね……』

『それで、またみんなの誘いを断ったのか』

『んっんちゅ…』

だめ……でしたか？』

んっんちゅ…

んっんちゅ…

んっんちゅ…

んっんちゅ…

『あまり事務所で』

こういうのは……』

『でも…プロデューサーさんも…  
こんな…その…ち、違うんですか…？』

カキカキ

カキカキ

んっんちゅ…

『あっ♡♡ すっんちゅ…♡♡♡♡♡』

『す、すまない今日はすつと  
外に出て歩き回る事が多かったからな…』

んっんちゅ…

すっんちゅ…♡♡♡♡♡

んっんちゅ…

んっんちゅ…

んっんちゅ…

んっんちゅ…

『ごめんなさば…プロデューサーさん…  
あたし、これすぎて…  
アイドルなのに…でも…』

んっんちゅ…  
すっんちゅ…♡♡♡♡♡

もあ…



本当の自分を見せる事に抵抗が  
なくなり、にがいフェチなのもあってか



智代子と付き合い始めて3ヶ月—  
最初こそ嬉し恥ずかしといった  
セックスだったが



隙きあらば  
くさいと言いつつ  
おしゃぶりするようになっていた

あまり事務所でやっていて  
もしバレたらと思うと  
怖いのもあり



休みの前の日は  
家に泊まりで  
セックスする事になった



ただ、この最近  
智代子のおねだりが  
エスカレートしている点は  
少し注意したほうが  
いいかもしれない





『ねえねえ果穂』

『はい？  
どうしました？』

ガサガサ



『私最近背が伸びたと  
思わない？』

『んー確かには少しだけ  
伸びたらあんなにさかしまさな』

『わーい♡  
やっぱりそっかー♡』



『だめだら智代子っうっ  
果穂の前であんなっ  
あっいきそ』

『あっ♡あっ♡  
ごめんなさいっ♡  
ごめんなさいっ♡  
あっいい♡  
プロデュっあっ♡』

パキパキ♡  
パキパキ♡

パキパキ♡  
パキパキ♡

パキパキ♡  
パキパキ♡

おっおっおっ  
おっおっおっ

また別の日――



『あ、やっぱりまだいた』

『ん、樹里かどうした』



『ああいや忘れ物しちゃってさ何、残業？』

『え、あ、いやーまあそんなとこだな』



『そっか？アンタもいろいろ大変だな』

たまには息抜きしろよな』

『ありがとう』



『そいじゃー』

バタッ



『あつあつ...』

智代子おまつ射精だあと  
そんな吸ったらつあつ』

お...お...お...  
ほお...』

ぐんぐんぐん

びしょびしょ

ザクザク

ザクザク

『うん、今日もまた友達のウチに泊まってるね』

『えっ、あつ、いやなんでもないうん、大丈夫、それじゃあね』

『その…いつも外に射精してくれるの嬉しいんですけど…❤  
中でも…いいいんですよ？❤❤  
当たっちゃったら…責任…  
とってほしいんですけど…ね？❤』

『またいっぱい射精ちやいましたね❤』

















